

国際ロータリー第 2500 地区第 6 分区

帯広東ロータリークラブ会報



Be A gift to the world

2015-2016 年度
帯広東ロータリークラブ

会 長 上野 敏 郎

幹 事 加藤 昭 治

メディア委員長 西田 重 人

「連：つらなる」

第1515回例会

平成28年4月19日(火) 於 ホテル日航ノースランド帯広

■創 立：1984年6月15日 ■認 証：1984年6月18日 ■例会：毎週火曜日 12:30～13:30

■事務局：帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel.0155-25-7347 ■会場：ホテル日航ノースランド帯広



2015-2016 年度

国際ロータリーテーマ

【世界へのプレゼントになろう】

2015-2016 年度国際ロータリー会長

K. R. ラビンドラン

ガバナーテーマ

【もっとロータリーを楽しみましょう】

国際ロータリー第 2500 地区 ガバナー

東 堂 明

月間テーマ

【母 子 の 健 康 月 間】

◎起 立 城戸秀和 副 S A A

◎友情の握手 城戸秀和 副 S A A

◎点 鐘 上野敏郎 会 長

◎開 会 宣 言 城戸秀和 副 S A A

ロータリーソング 「我等の生業」

ゲスト紹介

上野敏郎会長

十勝キャリアデザインネットワーク創立会長

佐々木 直美 様

◎会 食

会長挨拶

上野敏郎会長

今日は残念ながら出席者が多少いつもよりは少ないと思いますが、最初にお話ししましたように、とにかく熊本地震。本当に大変な事であ



ると思いながら、我々は我々で出来る事を精一杯やるしかない。ここはある意味で割り切っていかなければならないと思いながらこの席に立っております。

さて、最初にうれしいお話です。

米山奨学会から、福岡会員に米山功労者としての表彰がきておりますので、ここで伝達をしたいと思います。どうもおめでとうございます。



さて、4月の最初の例会でもお話し申し上げましたように、今月は「母子の健康月間」ということになっております。その月間の意味を見ますと、こういう事です、「1990年から2010年にかけて5歳未満の子供の死亡数が、世界全体で1,200万から440万減って760万になりました。しかし、1日に約2万人位の5歳以下の子供たちが亡くなっている。この時代を何とかしようではありませんか。その為に世界の各ロータリーは様々な事を考え実行してください。」という意味でした。

これを帯広に置き換えてみますと、5歳未満

の子供は平成24年の統計では、帯広市に限って言えば4人だそうです。何百万と言う数からしてみれば小さいかもしれませんが、世界中で760万と言う話でありますから4人という数も、やはり救えるものは救いたいと言う気持ちになりたいと思っております。

今日は佐々木直美市議会議員のお話を地域の女性のネットワーク創りという事で聞かれました。ありますけど、この母子の健康、お母さんと子供が健康に育つと言う命の問題というものも女性の立場でこのネットワークの中で論じられることを期待している所であります。是非ともこんなことはあってほしくない、今日のニュースであります。大阪で37歳のお母さんが、1年生の子供の首を絞めて殺してしまった。自分も死ぬと思ったが死に切れなかったというようなニュースが流れていました。まことに痛ましい何とも言えない、でもこの日本の中にこういう事態があるという事にどうかならないか、ということ母子の健康月間の中で我々も考えていきたいと思えます。

会務報告

加藤昭治幹事

④帯広東RC、5月3日(火)は祝日のため休会

⑥帯広北・帯広東・音更3RC合同育樹祭開催
●環境育成プロジェクト
＜雨天決行＞

日 時 5月22日(日)
午前10時00分

場 所 北海道立十勝エコロジーパーク
(集合：駐車場)

持ち物 長靴・軍手・タオル・鎌・スコップ等

※尚、帯広東RCは5月24日(火)の繰上げ例会とします。



ニコニコ献金

親睦活動委員会 大池梨華 委員

- 上野会長 新しい帯広市議会をつくる市議員、佐々木直美さんをおむかえしての例会です。新しい時代を感じます。
- 加藤幹事 熊本地震に災害義援金を皆様お願

いします。

- 宮前会員 4/16 41期株主総会が終わりやれやれです。

- 西田会員 本日はメディアの担当例会です。角さんのピンチヒッターですがヨロシクお願いいたします。



- 深澤会員 先日97歳の義母を見送りました。東RCから御供花、御香典頂き、ありがとうございました。誕生日に記念品を頂き有難うございました。
- 古川直也会員 熊本大震災にあわれた皆様に、お見舞い申し上げます。
- 加藤武志会員 平穏に暮らせることに感謝してニコニコします。
- 加藤肇会員 熊本では多くの方が地震で被災しております。十勝も地震の多い地域。みなさんも備えと周りの人達の事も気にかける様になりたいものです。

地区協議会報告

高田進会長エレクト

地区協議会が迫ってまいりました。

詳細につきましてはレターボックスに資料を入れておきました。

当日各分科会の移動につきましてはシャトルバスが出ますので、現地に案内がされます。

宜しくお願いします。



プログラム

メディア委員会 西田重人 委員長

創業社員として(有)絵麗へ入社。

平成17年絵麗の代表取締役役に就任されました。

平成21年に十勝CDN(キャリアデザインネットワーク)の創立会長に就任され、平成27年に



C D N 会長を辞任(有)絵麗の代表も辞任され、昨年帯広市議会議員に当選されております。

【地域における女性ネットワークの取り組みについて】

十勝キャリアデザインネットワーク創立会長
佐々木 直美 様

1976年帯広市内で「手作りの店 繪麗」という喫茶店を、母と共にオープンいたしました。創立から40年程経過しております。



なぜ、私が母と共に喫茶店を始めたかと申しますと、私の父は銀行マンで普通の家庭で育ちましたが、私が高校1年の時に父親が癌で亡くなりました。私が長女で妹が2人、母と母の母親、父の両親と6人の家族を残して父が40歳の若さで旅立ちました。私は、大学進学を諦め、経済的な事情から公務員になって東京で働きながら、夜専門学校に行きました。その後、母の会社の上司から融資をしてあげるから東京にいる娘さんと呼び戻して何か商売でも始めなさいと話頂きました。私は戻って母と一緒に喫茶店を始めることになりました。当時は空前の喫茶店ブームで、市内に2、300件ほどの喫茶店があった時期に始めることになりましたが、コーヒーメーカーの方から「これだけ喫茶店があるから、お客さん来てくれるかわからないよ。」と言われました。私はお菓子を作るのが好きで、母はパンを焼いたりお料理を習ったりしていて、パンを焼くことしました。それで手作りのパンをメニューの中心に添えた店を展開しようとなりました。それが「手作りの店 繪麗」のスター

トです。

「喫茶店はいいいね。楽しそうで私もやりたいわ」とよく言われますが、パンを焼くという仕事は見た目以上に大変で体力を使う仕事です。パンを焼くときには、朝6時位から始めて店の営業時間が終わってから食器をかたづけると、もう23時24時になる毎が続きます。そんな毎日を20年程続けているうちに母親がリウマチになり体調を崩します。このときから、私が代表をする事になります。

私は現場の仕事しかしていなかったので、経営って何だろうと本当に悩んでいたとき、新聞紙面で振興局が女性起業塾という塾の広告を出していました。その時点で自分達が起業をしてから30年程経過しておりましたので、「今更起業塾って」とみんなに言われましたが、経営者を交代して一から自分で起業するつもりで、これからの会社を運営していくためには必要だと思い、この起業塾に参加しました。その参加メンバーの皆さんと話をしていく中で共通の悩みを持っている事に気付きました。そこで、定期的に会って情報交換するという話になり、それが、十勝キャリアデザインネットワーク(C D N)の始まりなのです。

私達は18名程のメンバーで十勝C D Nを立ち上げました。特に立ち上げ時からお世話になっており、女性の起業支援の仕事やウェブ上で全国的に食品に関わる仕事をしている北村貴さんという方に創立から事務局長をして支えていただいております。

私は初代の会長として、昨年1月まで5年間会長をさせていただきました。メンバーには、小豆農家の奥さん、幼児保育園の先生、ウェブデザインに係わる方、介護施設を運営している方等、様々な職種の方がいました。

学習部会、ビジネスサポート部会、ネットワーク部会の3つの部会を立ち上げて活動を始めました。学習部会は経営者としてどんな事が必要かを勉強する部会。ビジネスサポート部会は仕事で繋がりを作る部会。ネットワーク部会は私たちの活動を外に発信し仲間を作っていく部会です。

学習部会が十勝にも素晴らしい経営者の方達がいて私達がこれからお手本とする方達のお話

を聞きたいので「地元経営者に聞く」というセミナーを始めました。

地元経営者の「ますやパン」の杉山さん、「ダスキンやまざき」の山崎さんは十勝では女性経営者の先駆けの方でした。

「六花亭」の小田社長は「自転車には自転車のスピードがあるよ。車には車のスピードがあるよ。飛行機には飛行機のスピードがある。自転車に乗っている段階で飛行機早くて良いなと思ってそれは叶わない事だ。まずは自分で自転車を乗りこなさなさい。そしたら車に乗り換えるタイミングが来る。車をしっかり乗りこなせるようになったら、もしかしたら飛行機に乗れるかも知れない。その時に初めて飛行機のスピードが出せるようになる。要するに自分に与えられたものをしっかりと、自分のものに身につけてから次のものに手を出すべきだよ。」と素敵なお話を頂きました。

岡本社長は「スタッフを凄く大事にするべきだよ。会社の中でスタッフは宝なのだから。スタッフを大事にするという事はスタッフの家族も大事にするという事です。スタッフの家族から、お父さんあるいは息子かも知れないけれども、こんな良い会社辞めたら駄目だよといわれるような会社にならないといけない。」という話を頂きました。他にも数多くの経営者の方々に本当に素敵なお話を頂いて感謝しております。

また、プレゼンのスキルを上げる勉強会や自分の仕事の発表会も行いました。例えば、北海道で初めての整理収納アドバイザーの資格を取ったメンバーによるおかたづけセミナー。料理研究家による時短で出来るお料理セミナー。お金の事が大好きな熱いフィナンシャルプランナーによる投資と生命保険の選び方というセミナー。

このような活動をしているうちに私たちのネットワークの取り組みがノーステック財団の目に留まり、平成22年「地域の仕組みづくり事業」として採択されました。そこで、私たちは第1回キャリアデザイン大賞を開催しました。キャリアデザイン大賞の目指すところは、働く女性が本当に地域の中でどのように働いて良いかという事がよくつかみ切れていない現状で、頑張っている女性に焦点を当てるようにしたいと考えたのです。

コンテストを開き、審査委員は市長・振興局長などに務めていただき、キャリアデザイン大賞を決めました。その後、キャリアデザイン大賞を2年に1回やりましょうという話になりました。第3回のキャリアデザイン大賞の時、シンポジウムに紫竹ガーデンの紫竹昭葉さんを講師にお招きしました。東ロータリークラブの福岡さんも94歳ということを知りましたが、紫竹さんはこの時88歳でした。1時間以上の講演で元気を頂きました。私も50代後半でしたが、紫竹さんの年まであと30年もある。紫竹さんはビックリすることに「私、年取ったらやりたい事がある。」とおっしゃっていました。

その時のキャリアデザイン大賞受賞者は鈴木由加さんと、芽室の農家のお嫁さんです。彼女はまだ農業の6次化という言葉がない時から畑の農作物無駄になるのはもったいないので、色々加工しながら販売しておりました。現在、愛菜屋で「すずきっちゃん」というシールが貼った乾燥野菜をご覧になった事もあるかもしれません。鈴木さんは十勝、北海道のみならず全国の農業女性のオピニオンリーダーとして、頑張っています。

日本の51%は女性です。男女比半分半分ですが、女性の賛同を得るビジネスは意外に多いと思います。昔から車の販売や家の販売の時に奥さんの承諾を得れば成立すると聞きますね。やはり女性の持つシェアというのは大きいものがあります。

女性の感性を活かしてしなやかに力強く働くために悩みを共有して解決に向けて学びあう。何よりも私たち自身が集まりの中で元気をもらって活き活きと働くためにこのネットワークを地域の中で広げていこうと思っています。ご静聴ありがとうございました。

◎閉会宣言

城戸秀和 副S A A

◎点 鐘

上野敏郎 会 長

次週プログラム

会員増強・ロータリー情報委員会

4月26日(火) 「情報集会報告」